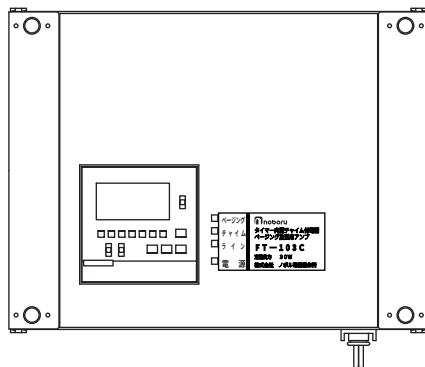


このたびはノボルのタイマー内蔵チャイム付電話ページング用アンプFT-103Cをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、必ず保管してください。（保証書付）

FT-103C



■特長

- デジタルウィークリータイマーを内蔵しています。（内蔵のタイマーにより1週間単位で始業、終業時のチャイム放送ができます。また、CDプレーヤ、リモコンリレーを外部接続することによりCDラジオ体操の放送ができます。）
- デジタルウィークリータイマーの機能として時刻合せ入力が付いています。
- チャイム音（2曲のうち1曲選択）呼び出し予告音（4曲のうち1曲選択）を内蔵しています。
- 接続端子にスクリューレス端子を使用していますので配線の接続工事が簡単です。
- 場所をとらない壁掛け型30W電話ページング用アンプです。

■目次

特長	1
安全上のご注意	2～4
設置、使用上の注意	4
各部の名称と説明	5
タイムスイッチ部の名称	6
取付方法	6
接続のしかた	7
時刻合せ入力の接続のしかた	8
使用方法	9
①ページング放送のしかた	9
②ダストカバーのはずし方、付け方	10
③チャイム放送のしかた	10、11
④ラジオ体操（CD）放送のしかた	12、13
⑤プログラムの確認及び修正のしかた	14
任意の曜日のプログラムの確認	
登録したプログラムの内容の確認及び修正	
⑥プログラムの消去のしかた	14
登録したプログラムを部分的に消去する	
登録したプログラムを回路単位で全て消去する	
⑦その他の使用方法	15
12/24h表示の切替	
時刻、曜日を修正する	
一時的に休日（非動作日）を設定する	
チャイムのテスト放送のしかた	
ラジオ体操（CD）のテスト放送のしかた	
故障かな？	16
主な仕様	17
放送時間記録用紙	18、19
保証書	20

■安全上のご注意

この安全上のご注意および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警 告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
 注 意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。		この記号は禁止の行為であることを告げるものです。
			この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ●の中や近くに具体的な強制・指示内容が描かれています。

 警 告	
表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。 火災、感電の原因となります。 この機器を使用できるのは、日本国内のみです。船舶などの直流電源には接続しないでください。火災の原因となります。	 禁 止
（端子）カバーを外して端子の接続をする時やヒューズを交換する時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業してください。感電の原因になります。	 電源プラグを抜く
使用中は（端子）カバーを取り付けて、端子に触れないようにしてください。感電の原因となります。	 接触禁止
この機器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。 この機器のキャビネット、カバーは絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検、整備、修理は販売店に依頼してください。	 分解禁止
万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。	 電源プラグを抜く
万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。	 電源プラグを抜く
万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。	 電源プラグを抜く
万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。	 電源プラグを抜く
この機器の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものを差込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。特に小さいお子様にはご注意ください。	 禁 止

⚠ 警告

この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となります。

この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。

この機器を押入れ、専用ラック以外の本棚などの風通しの悪い、狭いところに押し込む。テーブルクロスをかけたり、絨毯、布団の上において使用する。



禁止

この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。



禁止

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードが傷ついて、火災、感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず重いものをのせてしまう事がありますので避けてください。



禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災、感電の原因となります。



禁止

電源コードが傷んだら、(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



警告

この機器の設置は、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。発熱により高温となり、火災、やけどの原因となります。



強制

風呂場などの水場では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



水場禁止

⚠ 注意

電源を入れる前に、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



注意

ヒーターの熱風や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に取り付けしないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



禁止

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。



禁止

湿気や、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所におかないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

この機器の上ののったり、ぶらさがったり、ものをのせたりしないでください。落下したり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

⚠ 注意

お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。感電の原因となることがあります。



年に一度くらいは、機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や感電の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



本機を他の機器と接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源プラグをコンセントから抜いてから、説明に従って接続してください。また、接続には指定のコード以外使用しないでください。火災、感電、けがの原因となることがあります。



移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、外部機器との接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く時は、コードを引っ張らずに必ず電源プラグをもって抜いてください。コードを引っ張りますと、傷がつき、火災、感電の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となることがあります。



電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

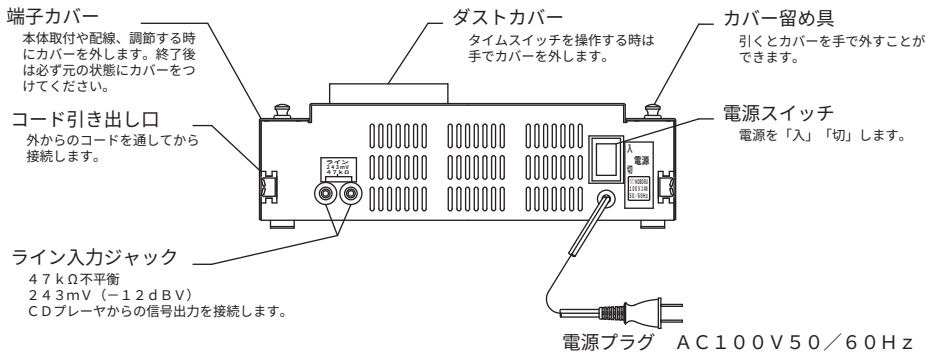
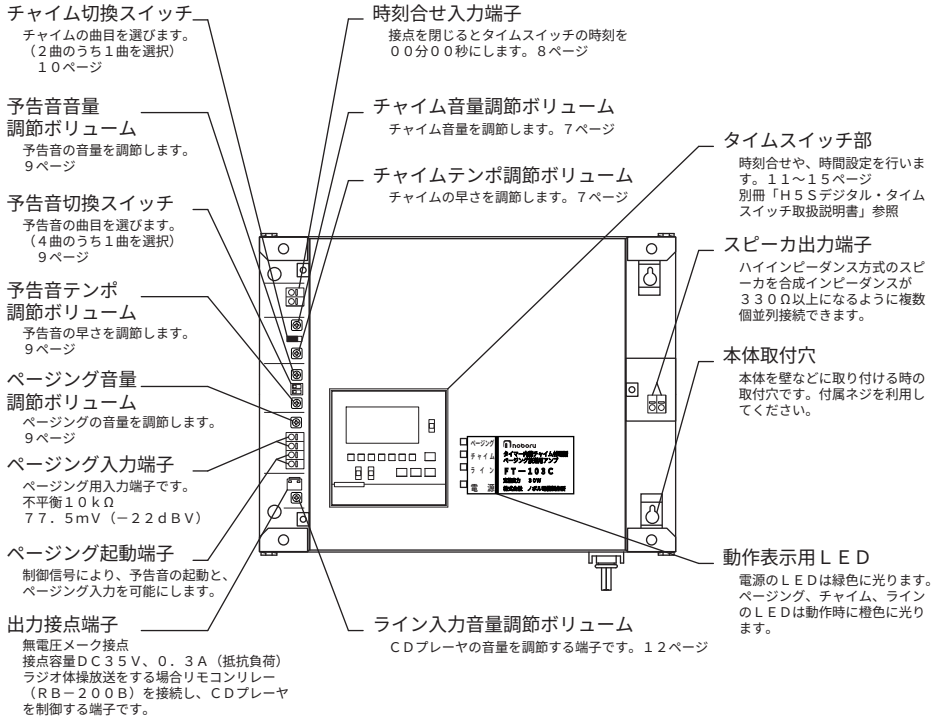


■ 設置、使用上の注意

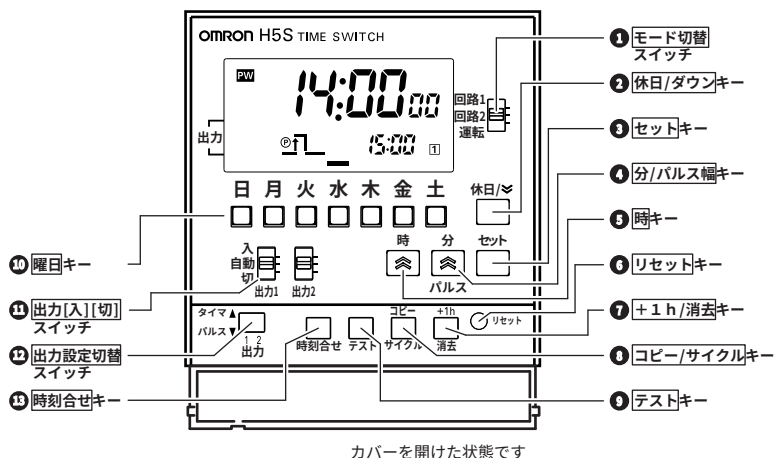
- 本機は拡声放送専用のタイマー内蔵アンプです。他の用途には使用しないでください。
- 電氣的雑音の多い場所でご使用になる場合は、雑音発生源や雑音のつた強電線から入力、出力信号線及び本機をできるだけ離してください。
- 次のような使い方はしないでください。

40℃以上 直射日光のさし込み場所や40℃を超える温度の高い場所。	ほこりの多い場所や腐食性のガス発生場所。	振動、衝撃の大きい場所。
-10℃以下 周囲温度が-10℃以下の場所。	水、油のかかる場所や湿度の高くなる場所。	内部回路の改造。

■各部の名称と説明



■ タイムスイッチ部の名称



■ 取付方法

1. 壁に縦25cm、横30cm程度のスペースを用意してください。
2. 左右の端子カバーを手ではずしてください。
(配線又は調節後は必ずカバーを元の状態に取り付けてください。)

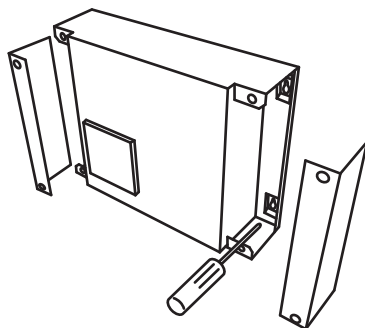
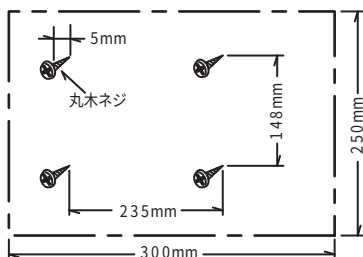
端子カバーのはずしかた



端子カバーの取り付けかた

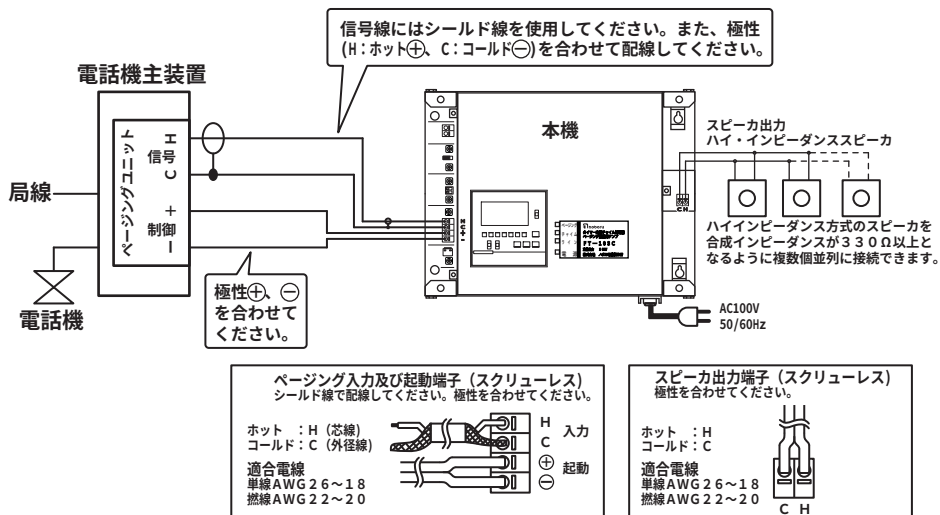


3. 壁に付属の丸木ネジ(3.8×16)を首下長さ5mm位までねじ込んでください。
4. 本機をネジにひっかけた後、ネジをさらにしめ込んで固定してください。

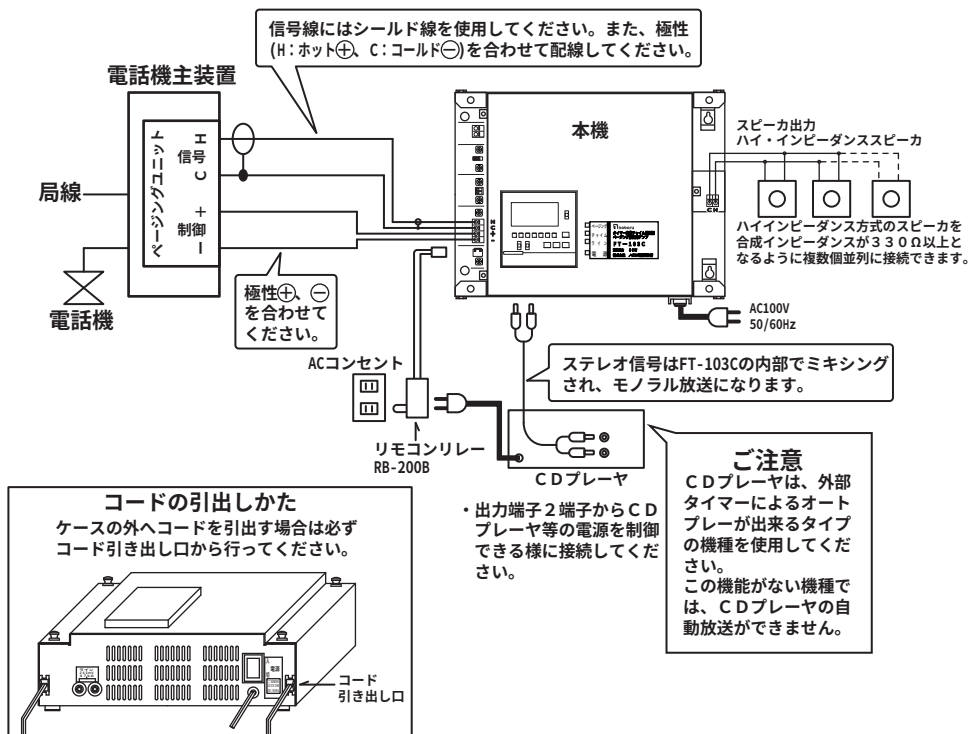


■接続のしかた

①電話ページングとチャイム放送をする場合

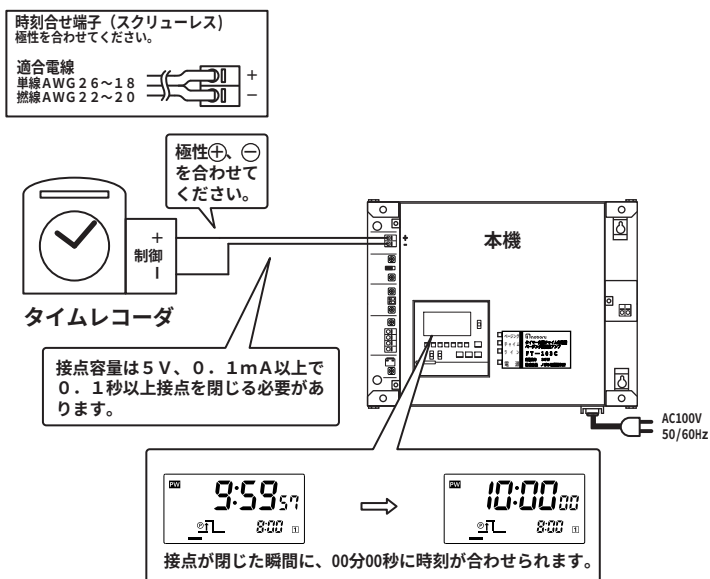


②ラジオ体操(CD)放送とチャイム放送をする場合



■時刻合せ入力の接続のしかた

接点出力可能なタイムレコーダ等と接続してFT-103Cのタイムスイッチの時刻を同期させることができます。



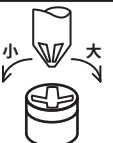
注意：製品出荷時は時刻合せ入力を使用できるように設定を行っていますが、タイムスイッチを「リセット」キーにより初期化すると再度設定しなおす必要があります。そのような場合は下記の手順で再設定してください。

モード切替 	1. モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」にしてから、「時刻合せ」キーを3秒以上押してください。
	2. 表示が切り替わったら、「時刻合せ」キーを押して「F2」を表示させる。
	3. 「時」または「分/パルス幅」キーを押して左図の表示にしてから、「セット」キーを押してください。
モード切替 	4. モード切替スイッチを「運転」にしてください。

■使用方法

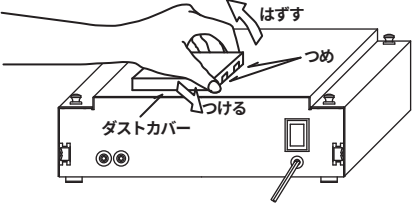
電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にすると動作表示用LED（電源）が緑色に点灯し待機中であることを表示します。

①ページング放送のしかた

1. 予告音を鳴らす	
	電話機からページング放送の操作を行ってください。 動作表示用LED（ページング）が橙色に点灯し、本機の予告音が鳴ります。 ご注意 予告音とチャイム音を同時に起動した場合、チャイムが鳴ります。（予告音はキャンセルされます）
2. 予告音の曲目切替	
①ド・ミ・ソ  ②ピン・ポン  ③ド・ミ・ソ・ド  ④ビビビビビ 	予告音切替スイッチで4曲の中から1曲選んでください。出荷時はド・ミ・ソ・ドに設定しています。
3. 予告音の音量調節、テンポ調節	
ご注意 ボリュームを強い力で回すとこわれることがあります。ドライバで軽く回すようにしてください。（最大回転角度210°） 音量調節  テンポ調節 	予告音音量調節つまみを回して、適当な音量に調節してください。 予告音の早さは予告音テンポ調節ボリュームで調節してください。
4. ページング音量調節	
ご注意 ボリュームを強い力で回すと壊れることがあります。ドライバで軽く回すようにしてください。（最大回転角度210度） 	ページング音量調節つまみを回して、適当な音量に調節してください。 予告音が鳴り終わってから呼び出しを行うと予告音と重なりません。

※ハウリング（スピーカからキーンという音が出る）について
電話機の近くにスピーカがあるとハウリングすることがあります。もし、ハウリングが起きたときは、スピーカの向きを変えるか、音量を下げてハウリングしないようにしてください。

②ダストカバーのはずし方、付け方

	タイムスイッチ部を操作するときは手でダストカバーをはずしてください。 1. 図の部分を手で強くつかみながら上に持ち上げてはずしてください。 2. 付けるときは元の位置にかぶせて、手で押えると留まります。
---	---

③チャイム放送のしかた

1. 曲目の選択、調整、確認 チャイム曲目切換端子 ソケット ソケットを抜いた状態ではウエストミンスターが鳴ります。 ウエストミンスター ホイットینگトン	1. 曲目切換端子を操作して下記のどちらかの曲を選んでください。 ウエストミンスター ホイットینگトン 工場出荷時はウエストミンスターになっています。
出力 [入] [切] チャイムを鳴らす。 入 自動 切 出力1	2. 出力 [入] [切] スwitchの出力1を [入] にしてください。チャイムが1回鳴って停止します。
開始 終了 開始 終了 開始 終了 チャイム 約20秒以上 約20秒以上 ご注意 ボリュームを強い力で回わすとこわれることがあります。ドライバで軽く回すようにしてください。(最大回転角度210°) 音量調節 小 大 チャイム テンポ調節 おそい はやい	3. 再度チャイムを鳴らすときは、チャイムが鳴り終わって約20秒以上待ってから出力 [入] [切] スwitchの出力1を [入] にしてください。 ご注意 チャイムが鳴り終わって、すぐに出力 [入] [切] スwitchの出力1を [自動] から [入] にしてもチャイムが鳴らないことがあります。 4. 音量はチャイム音量調節ボリュームで調節してください。 5. チャイムの早さはチャイムテンポ調節ボリュームで調節してください。 ・チャイム演奏時間約10秒～約28秒 ご注意 予告音とチャイム音を同時に起動した場合、チャイムが鳴ります。(予告音はキャンセルされます)

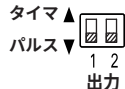
11 ページへ続く

(10ページから続き) ③チャイム放送のしかた

2. 自動放送プログラムの登録

出力設定切替 タイマ▲ パルス▼ 1 2 出力 放送時刻の設定後1、2スイッチを動かすとスイッチに対応した設定内容が消えてしまいますのでご注意ください。	1. タイムスイッチ部の下部にあるフタを開けて出力設定切替スイッチ1、2とも「パルス」にしてください。 製品出荷時は図のように設定しています。
出力 [入] [切] 入 自動 切 出力1	2. タイムスイッチ部の出力 [入] [切] スイッチの出力1を「自動」にしてください。
モード切替 回路1 回路2 運転	3. タイムスイッチ部のモード切替スイッチを「回路1」にしてください。
4. 日 月 火 水 木 金 土 4. 5. 時 分 5. 6. セット 6. 7. 分 パルス幅 7. 8. セット 8. 9. モード切替 9.	4. [曜日]キーを押してチャイムを鳴らしたい曜日に全て“-”マークを表示させてください。(これで毎日、月～土曜日などの指定ができます。) 5. [時] [分/パルス幅] キーを押してチャイム演奏開始時刻を表示させてください。(※1) 左図は月～金曜日のAM8:00にチャイムを鳴らす設定です。 ※1：キーを押し続けると早送りになります。[休日/≡] キーを押すと直前に押した値がダウンします。 6. [セット] キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。 7. [分/パルス幅] キーを押してチャイム演奏時間の「25 S (※2)」を表示させます。(※1) ※2：チャイム演奏時間に合わせて設定してください。 8. [セット] キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。 9. 4～8の手順をくり返して全てのプログラムを登録してください。登録が終了しましたら、[モード切替] スイッチを「運転」にしてください。現在時刻が表示されたら登録は終了です。 [パルス幅] は演奏時間、[m] [s] はそれぞれ、分、秒を表します。各キーやスイッチの位置は、P 6、タイムスイッチ部の名称を参照してください。

④ラジオ体操（ＣＤ）放送のしかた

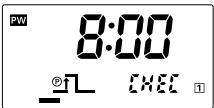
1. 音量の調節及び確認																																				
	本機とCDプレーヤが正しく接続されているか確認してください。（P7、「接続のしかた」参照）																																			
出力 [入] [切] 	1. 出力 [入] [切] スwitchの出力 2 を [入] にしてください。動作表示用LED（ライン）が橙色に点灯し、接続したCDプレーヤとアンプが起動し放送状態になります。																																			
ご注意 ボリュームを強い力で回すと壊れることがあります。ドライパで軽く回すようにしてください。 （最大回転角度210度） 	2. 放送の音量はライン入力音量調節ボリュームで調節してください。 出荷時はツマミの回転位置をほぼ中央に合わせてあります。CDプレーヤの電源スイッチは"ON"にしておいてください。 "OFF"になっていますとCDプレーヤは動作しません。																																			
2. 自動放送プログラムの登録																																				
出力設定切替 タイマ▲ パルス▼  出力 放送時刻の設定後1、2スウィッチを動かすとスウィッチに対応した設定内容が消えてしまいますのでご注意ください。	1. タイムスイッチ部の下部にあるフタを開けて出力設定切替スイッチ1、2とも [パルス] にしてください。 製品出荷時は図のように設定しています。																																			
出力 [入] [切] 	2. タイムスイッチ部の出力 [入] [切] スwitchの出力 2 を [自動] にしてください。																																			
<table><tr><th></th><th colspan="2">記入例</th><th colspan="2">月</th><th colspan="2">火</th></tr><tr><th>出力</th><th>1</th><th>2</th><th>1</th><th>2</th><th>1</th><th>2</th></tr><tr><td>放送</td><td>チャイム パルス 25秒</td><td>ラジオ 体操</td><td>チャイム パルス 25秒</td><td>ラジオ 体操</td><td>チャイム パルス 25秒</td><td>ラジオ 体操</td></tr><tr><td>A</td><td>8:20</td><td>8:25 (3分)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>M</td><td></td><td>8:28 (25秒)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		記入例		月		火		出力	1	2	1	2	1	2	放送	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	A	8:20	8:25 (3分)					M		8:28 (25秒)					3. 放送時間記録用紙の出力2（ラジオ体操）の枠に放送したい時刻と演奏時間を記入してください。プログラムの登録は、演奏時間を分と秒に分けて登録しなければならないので分と秒の二つに分けて記入してください。 CDプレーヤの機種によっては3分25秒以内にラジオ体操が終わらなかったり、第2曲目が開始したりする場合がありますので、秒の設定で調整して合うようにしてください。 例 （放送時間） （演奏時間） 1 AM8：25～ 3分間・・・分の設定 2 AM8：28～25秒間・・・秒の設定 （19ページの放送時間記録用紙の記入例を参照）
	記入例		月		火																															
出力	1	2	1	2	1	2																														
放送	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操																														
A	8:20	8:25 (3分)																																		
M		8:28 (25秒)																																		

13 ページへ続く

(12ページから続き) ④ラジオ体操 (CD) 放送のしかた

モード切替	4. タイムスイッチ部のモード切替スイッチを「回路2」にしてください。
5. 日月火水木金土 6. 時 分 7. セット 8. 分 9. セット 10. 日月火水木金土 11. セット 12. 分 13. セット 14. モード切替	分の設定 5. 「曜日」キーを押してラジオ体操を放送する曜日に全て「-」マークを表示させてください。(これで毎日、月～土曜日等の指定ができます。) 6. 「時」 「分／パルス幅」キーを押してラジオ体操開始時刻を表示させてください。 (※1) 左図は月～金曜日のAM8:00にラジオ体操を放送する設定です。 ※1: キーを押し続けると早送りになります。「休日／」キーを押すと直前に押した値がダウンします。 7. 「セット」キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。 8. 「分／パルス幅」キーを押してラジオ体操放送時間の「3min」を表示させます。(※1) 9. 「セット」キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。 秒の設定 10. 5、6の手順を繰り返して曜日の設定をしてください。 「時」 「分／パルス幅」キーを押してラジオ体操開始時刻の3分後の時間を表示させます。 11. 「セット」キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって「3min」が表示されます。 12. 「分／パルス幅」キーを押して「25s」を表示させます。(※2) 画面の表示は「60m」の次に「1s」に戻ります。 ※2: ラジオ体操の最後が切れる場合は、「28s」に設定してください。 13. 「セット」キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。 14. 5～13の手順をくり返して全てのプログラムを登録してください。登録が終了しましたら、「モード切替」スイッチを「運転」にしてください。現在時刻が表示されたら登録は終了です。

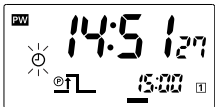
⑤プログラムの確認及び修正のしかた

1. 任意の曜日のプログラムの確認	
	〔モード切替〕を〔運転〕にしてください。 確認したい曜日の〔曜日〕キーを2秒以上押してください。〔chec〕が点滅し、プログラムが表示されます。 〔セット〕キーを押すと次のプログラムが表示されるすべての登録内容が表示されたら現在時刻の表示に戻ります。
2. 登録したプログラムの内容の確認及び修正	
	〔モード切替〕スイッチをチャイムの場合は〔回路1〕に、ラジオ体操の場合は〔回路2〕に切替えます。 〔セット〕キーを押すと登録内容が表示されます。押す度に登録内容が〔時刻〕〔演奏時間〕の順で表示されます。 修正する場合、修正したい個所が表示されている時に「時」〔分/パルス幅〕キーにて変更し〔セット〕キーを押してください。 最後に〔モード切替〕スイッチを〔運転〕に戻します。

⑥プログラムの消去のしかた

1. 登録したプログラムを部分的に消去する	
	〔モード切替〕スイッチを〔回路1〕または〔回路2〕に切替え、消去したいプログラムを表示します。 〔+1h/消去〕キーを短く押すと左図のように表示されます。 〔セット〕キーを押すと消去されます。 〔CLr〕が点滅している時に〔+1h/消去〕キーを押すと消去がキャンセルされます。
2. 登録したプログラムを回路単位で全て消去する	
	〔モード切替〕スイッチを全て消去したい回路（〔回路1〕または〔回路2〕）に切替えます。 〔+1h/消去〕キーを3秒以上押すと左図のように表示されます。 〔セット〕キーを押すと選択した回路の全プログラムが消去されます。 〔CLr〕が点滅している時に〔+1h/消去〕キーを押すと消去がキャンセルされます。

⑦その他の使用方法

1. 12 / 24 h 表示の切替	
	[モード切替] を [運転] にしてください。 [時] キー 2 秒押すごとに [24 時間表示] と [AM / PM 12 時間表示] に切替ります。
2. 時刻、曜日を修正する	
 日 月 火 水 木 金 土	[モード切替] を [運転] にしてください。 [時刻合せ] キーを 2 秒以上押してください。 時計マークが点滅表示されます。[時] [分 / パルス幅] キーで時刻を設定してください。 次に、本日の [曜日] キーを押して設定してください。 最後に [セット] キーを押してください。 押した瞬間から時計がスタートします。
3. 一時的に休日(非動作日)を設定する	
 日 月 火 水 木 金 土 点灯 (プログラム動作) ⇔ 消灯 (休日)	[モード切替] を [運転] にしてください。 [休日 / ≡] キーを 2 秒以上押してください。 左図のように表示が切替るので休日にしたい曜日の [曜日] キーを押して消灯してください。 最後に [セット] キーを押して設定完了です。 休日は本日より6日後まで設定できます。対象の休日を過ぎると設定は自動で消えます。
4. チャイムのテスト放送のしかた	
出力 [入] [切] 	出力 [入] [切] スwitchの出力1を [入] にしてください。チャイムが1回鳴って停止します。
5. ラジオ体操 (CD) のテスト放送のしかた	
出力 [入] [切] 	出力 [入] [切] スwitchの出力2を [入] にしてください。動作表示用LED (ライン) が橙色に点灯し、接続したCDプレーヤーとアンプが起動し放送状態になります。

※タイムスイッチの詳細につきましては、
 「H5S デジタル・ウィークリータイムスイッチ取扱説明書」を参照ください。

■故障かな？

機器の調子がおかしい時、案外簡単なことが原因になっている場合が多いものです。
修理を依頼される前に次の点検項目をチェックしてください。

症 状	点 検 項 目	処 置
電源表示LED（緑）点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください
	電源スイッチが「入」になっていますか	電源スイッチを「入」にしてください
チャイム、ラジオ体操が鳴らない	タイマの出力「入」「切」スイッチが「切」になっていませんか	「入」にしてから鳴るかどうか確認してください
	タイマの出力「入」「切」スイッチが「入」になったままになっていませんか	いったん「自動」にしてから再度「入」にして確認してください
	それぞれのボリュームが最小になっていませんか	適当な音量に調節してください
	スピーカとの接続は確実ですか	正しく接続してください
予告音が鳴らない、ページング放送ができない	それぞれのボリュームが最小になっていませんか	適当な音量に調節してください
	電話機から、予告音（ページング）起動がかかっていますか（ページング表示LEDが点灯していますか）	電話機から予告音（ページング）起動をかけてください
	予告音（ページング）起動端子に電話主装置の制御信号線が確実に配線されていますか	確実に配線してください
BGM放送ができない	ライン入力端子の接続ははずれていませんか	確実に接続してください
	ボリュームが最小になっていませんか	適当な音量に調節してください
設定した時間に鳴らない	出力設定切換スイッチが自動になっていますか	自動に切替えてください
	プログラムの設定内容に間違いはありませんか	正しくプログラムを設定してください
	モード切換スイッチが「運転」になっていますか	「運転」に切替えてください
チャイムの演奏時間がプログラムできない	タイムスイッチの出力設定切替スイッチが「タイマ動作」側になっていませんか	「パルス動作」側に切替えてください。 パルス動作に切替える場合、プログラムがすべて消えてしまいますので、切替える前にプログラム内容を確認又は、記録してからパルス動作に切替えて再登録してください
雑音が出る	本体や信号線の近くに強いノイズを出すような器具または、電線がありますか	本体や信号線と器具または電線を遠ざけてください
	信号線の極性、H（ホット）（+）、C（コールド）（-）を間違えていませんか	H（ホット）（+）、C（コールド）（-）の極性を合わせて配線してください

■主な仕様

電源電圧	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	24W
定格出力時消費電力	61W
定格出力時消費電流	0.73A
定格出力	30W
負荷インピーダンス	330Ω
歪率	5%以下 (1kHz、定格出力時)
信号対雑音比	50dB以上
周波数特性	100Hz～10kHz 偏差3dB以内 (定格の-10dB出力時)
タイムスイッチ部	
形式	H5S-WA2 デジタル・ウィークリータイムスイッチ (オムロン)
分類・種類	水晶発振計数繰返し式タイマ
プログラムステップ数	80 (2回路合計)
動作内容	パルス動作は1セット (ON/OFF) で1ステップ必要
	通常ON/OFF動作は1セットで、2ステップ必要
	サイクル動作は1セットで、4ステップ必要
	タイマ動作 (日を渡るタイマ動作も設定可能)
	パルス動作 (1～59秒及び1～60分設定可能)
表示	サイクル動作、休日設定、コピー(振替)機能、
	プログラムのテスト、プログラムの確認、半自動出力動作
	サマータイム切替、停電復帰時出力、時刻合せ入力機能
	入力積算表示機能、バンク機能、電源OFF時設定
	曜日、時、分、秒 (LCDによるデジタル表示)
設定方法	AM 0:00:00～11:59:59、PM 0:00:00～11:59:59
	または0:00:00～23:59:59
	用途別キースイッチ方式
	1分単位 (パルス動作は1秒より)
	連続5年以上 (25℃)
停電保証期間	オムロンの工場製造時より通算日数を示し、通電した時間は含まない。
時間精度	±15秒/月以下 (25℃)
外部入力	時刻合せ入力 接点短絡により00分00秒に合せる
入力回路	無電圧接点容量 DC5V、0.1mA以上必要
ページング入力	77.5mV (－22dBV) 10kΩ 不平衡型
ライン入力	音量調節器付
	243mV (－12dBV) 47kΩ 不平衡型
	音量調節器付
	タイムスイッチの回路2が動作時有効
	ページング起動時または、チャイム起動時、減衰する
予告音	
曲目	4曲のうち1曲選択 (スイッチ切替式)
	①ド・ミ・ソ (上がり3音) (1回鳴って停止)
	②ピン・ボン (1回鳴って停止)
	③ド・ミ・ソ・ド (上がり4音) (1回鳴って停止)
	④ビビビビビ (3回鳴って停止)
起動方法	ページング起動端子をループまたは直流 (10V～30V) を印加すると起動する
起動方式	無電圧接点方式とDC受電方式 (兼用)
	無電圧接点容量 DC5V、2mA以上必要
	DC受電電圧 DC10V～DC30V
	音量調節器及び、テンポ調節器付
調節機能	
チャイム音	
曲目	2曲のうち1曲選択 (スイッチ切替式)
	①ウエストミンスター (1回鳴って停止)
	②ホイッティングトン (1回鳴って停止)
起動方法	タイムスイッチの回路1を「入」にすることにより起動する。
調節機能	音量調節器及び、テンポ調節器付
	予告音とチャイム音を同時に起動した場合、チャイムが鳴ります。 (予告音はキャンセルされます)
制御出力	
出力接点	無電圧メーク接点 接点容量: DC35V、0.3A タイムスイッチの回路2が動作している間接点を閉じる。
外郭材料	
塗装色調	銅板
使用温度範囲	クリーム色 (マンセル2.5Y8/3近似的)
外形寸法	－10℃～+40℃
質量	幅264×高さ210×奥行90 (mm)
付属品	約4kg
	丸木ネジ 4本

放送時間記録用紙

	記入例		月		火		水		木		金		土		日	
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
出力	チャイム (パルス) (2.5秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (2.5秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (2.5秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (2.5秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (2.5秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (2.5秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (2.5秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (2.5秒)	ラジオ 体操
A M	8:20	8:25 (3分) 8:28 (25秒)														
	8:30															
	8:59															
	9:00															
	10:00															
	10:05															
P M	12:00															
	12:37															
	12:40															
	3:00															
	3:10															
	3:55															
	4:00															
	4:25															
	4:55															
	5:22															
	5:30															
	6:00															
	6:30															
	7:00															
	7:30															
	8:00															

※ＣＤプレーヤの様式によりラジオ体操の最後が途中で切れたり、次の曲がかかったりする場合があります。
その時は、パルス設定を変更して調節してください。

放送時間記録用紙

[illegible]

※ＣＤプレーヤーの様式によりラジオ体操の最後が途中で切れたり、次の曲がかかったりする場合があります。その時は、パルス設定を変更して調節してください。

品質保証書 持込み

型名	★製造番号 FT-103C		この保証書は無償修理規定により無償修理を行なうことを約束するものです。 お買い上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。修理品の送料はご使用者においてご負担ください。
	保証期間 お買い上げから一年間 但し、消耗品を除く（詳しくは下記に記載）		
お買い上げ日	★ 年 月 日		
★お客様欄	住所 〒 ー Tel () ー	★販売店	住所・店名・電話番号
	お名前 様		

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。製造番号については本体に貼付している規格銘板近くに貼付しています。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管ください。

<無償修理規定>

- 取扱説明書、本体注意銘板などに従った、正常な使用状態で、保証期間内に万一故障した場合、商品と本書をお買上の販売店にご持参、ご提示の上、修理をご依頼ください。無償にて修理いたします。
- 保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
 - お買上後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧などによる故障および損傷。
 - 常識的に正常な動作であるにもかかわらず、修理または、部品交換等の要求をされる場合。
 - 本製品に接続された当社指定以外の機器故障に起因する故障。
 - お客様の都合による、出張修理を行なった場合の出張費用。
 - 保証書のご提示が無い場合。
 - 保証書にお買上日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合。
- この保証書は日本国内においてのみ、有効です。This warranty is valid only in Japan

修理メモ

*本製品の故障に起因する付随的損害についての保証はお受けできません。

*この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合、お買上の販売店または下記の顧客サービスセンターまでお問い合わせください。



株式会社

拡声用音響装置
ノボル電機製作所

顧客サービスセンター

フリーダイヤル（無料電話） Tel 0120-014-602

受付時間 9:00~17:00

商品や技術など、お問い合わせにお応えします。

本社・工場 〒576-0051 大阪府交野市倉治3丁目5-10 Tel 072-891-4602

972722D 06.04